

名古屋市立幼稚園の今後のあり方に関する 実施計画（案）に対する市民意見の内容 及び本市教育委員会の考え方

名古屋市立幼稚園の今後のあり方に関する実施計画（案）に対し、
貴重なご意見をいただきありがとうございました。

いただいたご意見とそれに対する本市教育委員会の考え方を公表し
ます。

なお、ご意見の内容について、趣旨の類似するものはまとめさせて
いただいたほか、原文を一部要約し、また分割して掲載しております
ので、ご了承ください。

平成 29 年 8 月

名 古 屋 市 教 育 委 員 会
総 務 部 教 育 環 境 計 画 室
電 話 0 5 2 (9 7 2) 3 2 2 6
F A X 0 5 2 (9 7 2) 4 1 7 6
電子メール a3226@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

実施結果

- ア 実施期間 平成29年5月26日（金）～6月26日（月）まで
- イ 配布場所 市民情報センター、区役所情報コーナー、支所 など
- ウ 提出状況 意見提出者数 361人
意見件数 687件
- エ 提出方法 郵送172人 FAX40人 メール44人 持参105人
- オ 意見の内訳

項 目	意見数
市立幼稚園の役割と今後のあり方	141件
実施計画の策定にあたって	60件
市立幼稚園の取り組み	86件
「幼児教育センター」の設置	17件
市立幼稚園の教育環境の整備	66件
市立幼稚園再編の基本的な考え方	43件
再編対象園の選定	247件
閉園後の跡地及び施設の活用	27件
合 計	687件

寄せられた主な意見と教育委員会の考え方

1 本市の幼児教育を取り巻く現状と市立幼稚園の今後のあり方

(1) 幼児教育を取り巻く現状と課題

(2) 市立幼稚園の役割と今後のあり方（141件）

○市立幼稚園の良さが幼稚園選びをしている保護者全体に伝わっていないかもしれないので、例えば、広報なごやなどに市立幼稚園のことがわかる記事を書ける、ホームページをスマートフォンでも見られるものに刷新するなどPRを改善してほしい。

○市立幼稚園が何を大切にしているのか広く知ってもらいたい。市立幼稚園だけではなく私立幼稚園と共に幼稚園の特色をPRする場を作る、広報なごやへの掲載や1歳半検診の会場に幼稚園情報コーナーを作る、地域の幼稚園が集まり、話を聞ける機会をつくるなど実施してはどうか。

○市立幼稚園では、定員以上の応募があった場合、抽選によって入園者を決めているが、既にきょうだいが通園している場合、優先して入園を許可するように改めてほしい。

○3歳児受入人数が少ない場合、抽選がネックで市立幼稚園をあきらめる人もいる。受け入れ人数を増やしたり、落選した人への対応が整っていると入園しやすいと思う。

○弁当持参でなく給食にすれば、市立幼稚園に入園させたい保護者は多いと思う。アレルギー対応も検討していただきたい。

○園児確保のための改善点として、給食を何日か取り入れることや別料金でバス送迎することなどを考えてはどうか。

○年少児の定員が、年中・年長児クラスの定員より少ないことを改善してほしい。

○年少児クラスに定員の倍ほど入園希望がある市立幼稚園は、ぜひ全員が入園できるように定員を増やしてほしい。

○年少の保育時間のならし期間が長すぎるので、期間を短くしてほしい。もう少し会食の回数を増やしてほしい。

○仕事をしている母親は、保育時間が短いから市立幼稚園を選ばないということを聞くので、保育時間をのばしてみてもどうか。

【教育委員会の考え方】

- 広報活動については、市立幼稚園の取り組みなどをリーフレットやホームページなどで周知しており、また、園児募集については広報なごやへの掲載や各園での未就園児の会の開催などを行い、PRに努めております。今後さらに広報活動に力を入れるため、リーフレットの配架方法の見直しやホームページのスマートフォン対応、掲載内容の充実などを図ってまいります。
- 弁当の持参については、アレルギー対応やお子さんの体調管理などができることや、親子のコミュニケーションの手段となるなどの良さがあると考えております。また、親子での登降園には、親子のコミュニケーションの他、保護者同士の交流の機会、教師と直接子どもとのことで相談できるなどの良さがあります。給食、通園バス共に、費用面や施設面などから導入は難しいと考えております。
- 各園の定員は、周辺の教育施設や園舎の状況などを考慮して決めております。また、各年齢の定員は園児の発達段階を考慮して決めておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
- 幼稚園における教育時間は、幼稚園教育要領により 4 時間を標準にすることとなっており、現在のところ延長は考えておりませんが、保護者のニーズがある預かり保育につきまして、拡充を検討してまいります。

（３）実施計画の策定にあたって（６０件）

- 数字だけで判断せず親子が望む幼児教育をしてほしい。市立幼稚園は本当に素晴らしい教育をしている。計画は一度白紙に戻してあらゆる方向から検討すべきだ。
- 市立幼稚園の入園園児数が減少しているのは現実だが、幼稚園数を減らしていくだけでは根本的な解決にならない。なぜ市立幼稚園を選ばなかったのか、意見を聞いて改善しないといけない。
- 親目線、行政目線ではなく、子どもにとって何が幸せなのか考えてほしい。子育てしている親子を守るのが行政の役目である。
- 園児数が少ないからといって簡単に閉園してしまうのはいかなものか。むしろ、そういった地域の受け皿になるのが公的機関の役目ではないか。
- 計画では全園での取り組みや今日的な課題への取り組みがあげられているが、市立幼稚園を減らすことなく幼児教育が行われていけば、より効果が得られると思う。

○市は私立幼稚園を含めたすべての幼稚園の応援に力を注いでほしい。そのためには、ほんの一部しかない市立幼稚園を減らすことも十分あることだと思う。幼児全体のことを考えて行政をしてほしい。

○企業勤務の納税者の立場から見ると、余裕のある社会資源をよりニーズの高い方向にシフトする方針は当然だ。

○人口や社会問題に向けて行政施策を変えていくことは大切であり、もっとスピードを上げて再編に取り組んでほしい。市立幼稚園が必要だとしても、研究やモデル事業用として、市に一つか二つでよいのではないか。

○昨今の共働き世帯の増加や少子化などから、再編に賛成だ。

○4月下旬に閉園を公表するのではなく、入園説明会の時点で保護者に伝えるべきだと思う。

○閉園する市立幼稚園にも魅力があって保護者がその幼稚園を選んだはずなので、その良さを近隣の市立幼稚園で引継げるよう検討、対応していただきたい。

○将来的に幼児教育が今より良くなるという案を具体的に示し、子どもと保護者が納得した上で閉園を決定してほしい。

【教育委員会の考え方】

- 市立幼稚園の再編については、幼児人口の減少や幼稚園ニーズの低下に対応するため、平成28年度に策定した「名古屋市立幼稚園の今後のあり方に関する基本方針」に基づき、進めてまいります。
- 本計画案では、市立幼稚園が今日的課題への対応を充実させ、また、幼児教育センターの設置を行い、各園での教育の成果を私立幼稚園や保育所、認定こども園等へ広く提供することで、本市全体の幼児教育の質の向上に資するよう取り組むこととしております。
- 市立幼稚園の教育方針・教育内容については、保護者や地域の方々にご理解いただいている優れた面を、引き続き堅持してまいりたいと考えております。

2 本市の幼児教育の振興を図るための取り組み

(1) 市立幼稚園の取り組み(86件)

○名古屋市全体の幼児教育の質を上げることは重要なことだと思う。

○各学年でそれぞれに合った学習や運動の先生を呼び、有料でもよいので、子どもたちに学ばせたい。年長になったらメリハリのあるカリキュラムをすることで小学校生活の準備になると思う。

○せっかく市立幼稚園なので、名古屋市のいろいろな施設に職場見学に行ったりコラボレーションしたイベントを企画するなどして、子どもたちにも通わせる親にとってもより魅力的な幼稚園にできれば、園児の数も増えていくように思う。

○保育が終了してからの園庭開放は子ども同士の様子が見られたり、お母さんたちの交流を深める場としてありがたい時間だ。

○長期休業中の預かり保育の時間を夕方まで長くしてほしい。

○親子の時間を大切にという公立の考え方はわかるが、預かり保育の充実はニーズがあり、とても意義がある。

○市立小学校や中学校との交流があるのも市立幼稚園の良いところなので、ぜひ続けてほしい。

○市立幼稚園は障害のある子を受け入れ、公立だからできるインクルーシブ教育が大変素晴らしい。わが子が障害のある子と生活する中で接し方を知り、相手を思いやる事ができ、多くのことを学んでいる。このような教育を多くの子が受けられるよう一つでも多くの市立幼稚園の存続を求める。

○発達障害対応支援員も、その園にいる対象の子どもの数により増やすなど対策が思う。手厚い保育を望む。

○市立幼稚園は小学校との連携がとれていたり地域と繋がっており、地域の祭りにも参加して貴重な体験ができる。

【教育委員会の考え方】

- 幼児期は、様々な体験を通じて生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期です。実施計画に基づき、幼児教育の質の向上に努めてまいります。
- 市立幼稚園では、各園の特色を生かして創意工夫を凝らし、教育要領を踏まえて教育活動の充実に努めております。
- 預かり保育は、全園で実施しておりますが、保護者ニーズに対応するため、長期休業中も含め、拡充を検討してまいります。
- 市立幼稚園と小学校の交流は、生活や学習の円滑な接続を推進する上で大切な機会と捉えております。また、中学校との交流も、様々な人と関わることで多くのことが学べる機会であり、中学生にとってもキャリア教育の一環となるため、必要と考えております。
- 幼児期における特別支援教育の充実を図ることは重要であり、今年度より全園で発達障害対応支援員を配置して、きめ細やかな指導に努めております。
- 地域の方との交流や地域行事への参加は、幼児期の様々な体験の中で多くのことを学べる機会であり、今後も取り組みを進めてまいりたいと考えております。

（２）「幼児教育センター」の設置（１７件）

- 障害のある子どもの指導の研究や研修は必要であり、市立幼稚園でこそやってほしい。しかし、受け入れは私立幼稚園もしてもらえないと意味がない。
- 幼児教育センターは私立幼稚園のためになるなら期待できる。
- 幼児教育センターで研究、研修されたことが生かされるのは現場であり、現場での出来事を取り上げられ問題とか課題が解決・改善に向かうのだと思う。それは文字通り公的責任で進められるべきものであり、実践される場を無くすことは健全とは言えない。
- 「ことばの教室」の設置は大賛成。親は子が順調に成長しているかという不安を持っているので、知識を持った人が市立幼稚園にいて相談できる環境は安心できる。また、違った視点で子どもを見守ってくれ、親が気づかない言葉の問題にも気付いてもらえたらありがたい。

○教職員の研修は必要で大切なことだが、現状、教職員の負担は大きく、その中でさらに研修を充実させることは難しいと思う。

【教育委員会の考え方】

- ・幼児教育センターでは、幼保小連携や、特別な配慮を必要とする子どもへの支援などについての実践研究や研修を、公立・私立の幼稚園や保育所などの団体や、市の関係局と連携を進めながら、実施してまいります。
- ・ことばの教室については、当面は市立幼稚園の園児を対象にモデル実施を行い、その後、他の市立幼稚園、私立幼稚園や保育所などへも広げてまいりたいと考えております。

（３）市立幼稚園の教育環境の整備（６６件）

○全体的に市立幼稚園運営への保護者のお手伝いが多すぎる。先生方が人数不足で大変なのは分かるので、非常勤等で職員数を増やしてほしい。

○教諭の数が足りていないと実感するので、子どもたちの教育のためにも増員を願う。預かり保育の先生も不足していると感じる。

○発達に遅れがある子で心配な場合、担任以外に先生をつけてくれるようにしてほしい。

○防犯対策を強化してほしい。フェンスはすぐに乗り越えられるし、門も電子ロックにしてほしい。対策が進んでいる学校では見た目は良くなくとも簡単には入れないようになってるので改善を求める。

○駐輪場、駐車場があると助かる。多く雨の降る中、子どもを２人連れ、３人連れで歩いての登園は危険。

○市立幼稚園に入る子どもが減っているなら、新しくきれいな設備を整えてもっと魅力的な幼稚園を作してほしい。

○市立幼稚園の授業料が私立幼稚園より安いのは不公平ではないか。

○市立幼稚園は月謝が安いのも親としてありがたい。そのおかげで子だくさんの家庭が多く、少子化にブレーキがかけられる。

○私立幼稚園は独自に英語、体操の外部講師や屋内温水プールなどの取り組みをしているため、それだけ授業料が高くなっても仕方がないと思う。

○授業料のこともあるので公立は経済的に苦しい家庭の受け皿にもなるべきである。

【教育委員会の考え方】

- 本計画案に掲載しておりますように、各園の教諭が園児と向き合う時間を十分に確保できる環境を整えてまいります。
- 防犯対策は各幼稚園の状況に応じて整備を進めるよう努めてまいります。
- 施設整備については、名古屋市の学校施設すべてを対象として、安全・安心・快適な教育環境を確保するために策定した「名古屋市学校施設リフレッシュプラン」に基づき、計画的な老朽化対策を進めていきたいと考えております。また、駐車場については、現在、一時的な駐車スペースの確保も困難な状況ですので、ご理解いただきますようお願いいたします。
- 国の子ども・子育て支援新制度移行に伴い、市立幼稚園の授業料は、世帯の所得などに応じた額をご負担いただく仕組みになっております。本市も国の定める負担額の基準を踏まえて授業料額を定めております。なお、現在国において幼児教育の無償化について検討が進められており、本市も国の方針に沿って対応を検討するべきものと考えております。
- 私立幼稚園については、保護者負担の軽減、公私間格差の是正をはかるため、所得状況に応じた授業料の補助を行い、所得やきょうだいの人数によっては実質的な負担が無償となっております。また、近年、補助額を増額するなど、補助の充実をはかっており、今後とも段階的な負担軽減について検討してまいります。

3 市立幼稚園の再編について

(1) 市立幼稚園再編の基本的な考え方(43件)

(2) 再編対象園の選定(247件)

○閉園する園が少なすぎるのではないか。私立幼稚園が十分あり定員が余っているのに、市立幼稚園がそんなに必要だろうか。

○市が必要な保育園を増やしているのに比較して、余剰な市立幼稚園の閉園が3園というのは少ないのではないか。

○市立幼稚園と私立幼稚園では負担額に大きな差があり、無償化が実施されていない状況で「市立幼稚園を閉園するので私立幼稚園に行ってください」では、市民にとって平等ではない。

○保護者は再編対象となった市立幼稚園が良くて選んでいるので、周辺での就園機会を確保すればよいというのは安直だ。

○私立幼稚園での就園機会の確保とあるが、市立幼稚園と私立では、金銭面や就園条件など様々な問題がある。

○充足率が低く、近くに市立幼稚園がある、敷地が狭い等の表面上の理由で閉園対象にされることは到底納得できない。

○幼児人口が減少するならば、市立幼稚園を減らすのではなく園内のクラスの定員を減らすべきではないか。もし少人数での運営になるならば、異年齢学級という方法も考えられるのではないか。

○幼児の人口減少傾向にあっても入園待ちや抽選がある中で、市立幼稚園を閉園する必要があるのか疑問に思う。人数確保をしたいのであれば、きょうだい枠を作ったり送迎バスを運行するなど、通ってもらえる環境作りに力を入れてほしい。

○報徳幼稚園の閉園に反対。子どもの成長に合わせてのびのびと教育する幼稚園は、文化財と同じくらい社会で大切に守り伝えていくものであるべきだ。

○報徳幼稚園に来年入園する子どもは、下の学年が入ってこないので行事などの保育内容に不安があり、保護者は困惑して悩んでいる。

○少人数の市立幼稚園を気に入って入園している家庭や転勤等で年度途中で幼稚園を探している家庭も名古屋は多いと思う。また、報徳幼稚園は、地域全体で子どもたちを育てているので、実施計画案は白紙に戻すべき。

○はとり幼稚園は富田図書館や富田公園が近くにあり、とても良い環境の中にある。子どもたちものびのびと自然豊かに育っており、まだ通いたい子どもたちもいるので閉園しないでほしい。

○はとり幼稚園にわが子がお世話になった。はとり幼稚園は環境が素晴らしい。自然に触れ、戸田川発見隊の方々にはメダカ釣りなど教えてもらい、どんぐり拾いや公園掃除など地域の方々とたくさん関わる事が出来た。なくさず存続してほしい。

○はとり幼稚園は改修工事されてきれいであり、また国道 302 号線が工事されていることが考慮されていないことは、安心安全を一番に考えるべき行政の役割を果たしていない。

○わが子は平田幼稚園と比良西幼稚園を卒園したが、私自身母親としてたくさんのことを学び、たくさんの素敵な出会いがあった。親子共々、素晴らしい学びの場であった比良西幼稚園閉園には反対だ。

○比良西幼稚園の充足率は悪いものでなく、周辺私立幼稚園の状況からみても市立幼稚園の少人数制が貴重と考えられる。

○比良西幼稚園の地域から楠西幼稚園に通うのでは、自転車しか交通手段のない場合、雨の日は幼稚園を休ませることになる。区をまたいでの通園になるので、地域とのつながりを絶たれてしまう。

○閉園案に対して反対。市立幼稚園を希望している保護者の存在にも目を向ける必要がある。市立幼稚園の教育環境は素晴らしく、子育てにおいては、手間と愛情を省いてはならない。

○わが子が名古屋市立幼稚園に通っている。園の経営や方針、幼稚園の中での生活や遊び、先生方の指導や、PTAの活動まで、安心、安定している。安心して子どもを預けられる幼稚園をなくしてほしくない。

○自由保育の中で遊びを通じて得ている学びの多さに感心している。住みやすい名古屋であるためにも、市立幼稚園の縮小を見直してほしい。

○子ども2人が市立幼稚園でお世話になった。子どもの自主性を尊重し、自分で考えることやのびのびと毎日、楽しく過ごすことができた。先生方も常に寄り添い、心配りをしてもらった。このような市立幼稚園を減らしてほしくない。

○報徳幼稚園では、募集停止を知らずに今年度入園してきている。少なくとも、もう1年閉園を遅らせるべき。

○閉園は仕方ないと思える部分もあるが時期が急すぎる。報徳幼稚園では、現在の年少児に影響が生じるので、卒園まで園児に影響がなければ反発する保護者も少なかったのではないかと。2歳下のきょうだいはもう入園できないので、せめて1年閉園が延期できればと思う。

○はとり幼稚園に下の子も入園させた場合、年長児になった時に幼稚園に年少児がいなくなるが、今行われている行事等は催されるのか。保護者が不安にならないよう早い段階で対応について教えてほしい。

○保護者は閉園するまでの間、子どもたちが十分にケアしてもらえるか心配なのだと思う。計画に「教育委員会や園の先生が協力して心配のないようにしていく」と記載してほしい。

○最後の卒園児の同窓会について、何か代わりになる事を検討してほしい。

【教育委員会の考え方】

- ・市立幼稚園の再編については、平成28年度に策定した「名古屋市立幼稚園の今後のあり方に関する基本方針」において、幼児人口の減少や幼稚園ニーズの低下に対応するため再編を行っていくこととして方針を決定しており、本計画案は基本方針に基づき具体的な園や閉園の手法を定めるものです。
- ・市立幼稚園の再編に関しては、多岐にわたるご意見、ご要望をいただきました。これらのうち、報徳幼稚園において、今年度入園の3歳児が年長児になった時に3学年揃わなくなることについては、保護者からのご意見を踏まえて、報徳幼稚園の閉園年度を1年間繰り下げることとします。また、閉園までの期間につきましては、閉園対象園の園児が十分な活動を行えるような機会を確保したいと考えており、その旨本計画案を修正してまいります。

（３）閉園後の跡地及び施設の活用（２７件）

○小学校のトワイライトスクールの幼稚園バージョンや地域ぐるみで子育てする報徳こども園もよい。延長保育は地域密着園として存続していけたら素晴らしい。

○幼稚園、保育所、あるいは図書館をも含めた複合施設としての一体化を提案する。文科省、厚労省の壁を取り払い市民のニーズに合わせた取り組みをしてほしい。

○比良西幼稚園と比良西保育園を合わせて、幼保一元化した認定こども園にすることはできないか。

○今ある幼稚園の閉園後、建物が何年間も無人になるのは反対。私の知っている私立幼稚園は今年、子どもたちがいなくなることなく認定こども園に移行した。

【教育委員会の考え方】

- ・閉園に伴う跡地及び施設については、本計画案に掲載しているように、認定こども園や保育所等などの子ども関連施設として活用することを視野に入れており、今後、当該地域での保育ニーズや施設の設置状況に留意して活用方法を判断してまいります。